

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヘア		
○保護者評価実施期間	R7年9月15日		～ R7年10月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年9月15日		～ R7年10月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの福祉(保育、児童養護施設等)を経験した職員が複数在籍しているため、個別に細やかな療育を提供することができる。	子ども達が興味のある装飾をほどこした療育玩具を作成し、プログラムに活かしている。	子ども達の様子を見て、職員間で意見交換をし、ブラッシュアップしていく。
2	利用時の様子を写真で提供し、保護者に安心して預けて頂ける環境作りに努めている。	個人情報に配慮しながら提供している。	療育時の表情等も撮影し、保護者に提供することで、保護者の安心感の向上に務める。
3	学校・福祉サービス事業所等と連携を強化している。	担当者会議には必ず出席している。 気になることがあれば、行政等に随時、連絡・相談している。	引き続き、連携を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性のスタッフが少ない。	子ども達は体を使った遊びをしたい様子が見られるが、体力的に女性職員だけでは難しい場面もある。	男性職員も含め、採用を強化していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ヘア

公表日 R7年10月27日

利用児童数 9

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2		3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	4		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6			1	毎日、楽しみにしております。 行くのが楽しみみたいで良く聞いてきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				手先の練習（鉛筆・ハサミ等）上手になってきていると思います！ 大満足です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ペア		公表日		R7年10月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	11		面談室を活用し、個別学習スペースやリラックスマルームとして活用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		定められている配置職員数に加えて基準数を上回る職員を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		見通しのよい環境で不要な掲示物はあえてせず、シンプルにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		朝、夕の清掃は必須とし、前日に次の日の利用児童に合わせた配置をしている。	利用者の増加により、子どもが体を動かす空間の拡大を検討する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	状況に応じて認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		朝礼時に前日の振り返りを行うなど改善点について意見交換を行いPDCAを意識した事業所運営を行っている。	朝からいる職員と昼から来る職員の連携がこれまで以上に必要である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		保護者向け評価表を活用し、業務改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		職員の意見をすくい上げ、具体的な体制の見直しを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11	実施していない。	今後、実施を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		参加できる研修には積極的に参加できるように環境整備を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		個別支援計画はスタッフ会議をもって進め、保護者面談実施の上で作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		児童発達支援管理責任者任せにすることなく、子ども達に関わる職員の意見を聞きながら作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		スタッフミーティングや朝礼などで共有し、支援の方向性を共有化している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	必要に応じて保護者面談を実施するなどして目標に添った支援であるか再度見直しをおこなっている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	3	本人の実情にそくした支援内容を保護者と一緒に確認し、具体的なスモールステップの内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	月初や朝礼時にチームで立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		定期的に見直しを行っている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		個別と集団活動を組み合わせて支援を実施している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		朝礼時に役割分担の共有化を行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		支援終了後には必ず、振り返りを行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		記録は個人ノートをベースに体調面や申し送りに不備がないように記載している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		定期的にモニタリングを実施、保護者面談のうえ、共に確認し、見直しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2	状況をよく理解した職員が参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		11			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			連絡ノート、送迎時やLINE等で共通理解を深めています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	9				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	2	契約時に丁寧に説明している。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		保護者面談等の時に必ず確認するようにしている。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		個別に丁寧に説明しながら、必ず同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		機会を見つけて相談しやすいように日頃から声かけを行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11		保護者同士が交流する場等を開催することを検討する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			急な対応が必要な場合は、すぐに対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11			毎月、通信を発行している。 日々の活動は、ノートと写真でお知らせしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			鍵付きの書庫等を活用して個人情報の取扱には十分留意している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			子ども達には絵カード等を用いる。 保護者に対しては、LINEやノート（活字）でお互いに確認漏れのないようにしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2		マニュアルは整備して周知しており、訓練実施後には振り返りを行い見直しもしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	2		定期的を実施し、避難経路の確認等を徹底している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11			契約時等に事前に確認している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			医師の指示書に基づき対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			安全管理研修を受講し、所内にて実践研修を行っている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		緊急連絡カードに保護者以外に対応できる親族等も記載してもらい連携に努めている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	2		ヒヤリハット・事故報告書は義務付けており、全スタッフで再発防止に努めている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			虐待防止研修は必ず受講し、全スタッフで研修内容を共有している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11			緊急やむを得ない要件を組織的に共有している。	